



経済を好循環させる産業政策の推進

主担当部局：産業・雇用振興部



郡山下ツ道ジャンクション



京奈和自動車道御所 IC 周辺 (産業集積地予定地)

目指す姿

新しい産業を創り、また地域産業を伸ばすための産業支援を行うことにより、「起業の促進」や「しごと創生」を図り、経済を活性化させることで、奈良で暮らし、奈良で働くことができ、経済が県内で好循環する社会を目指します。



●平成29年度までに、生活関連製造品出荷額を

66億円

アップします。

(平成29年度目標額：4,408億円)
(平成24年度：4,342億円)

●平成29年度までに、県民1人当たり小売業年間商品販売額を

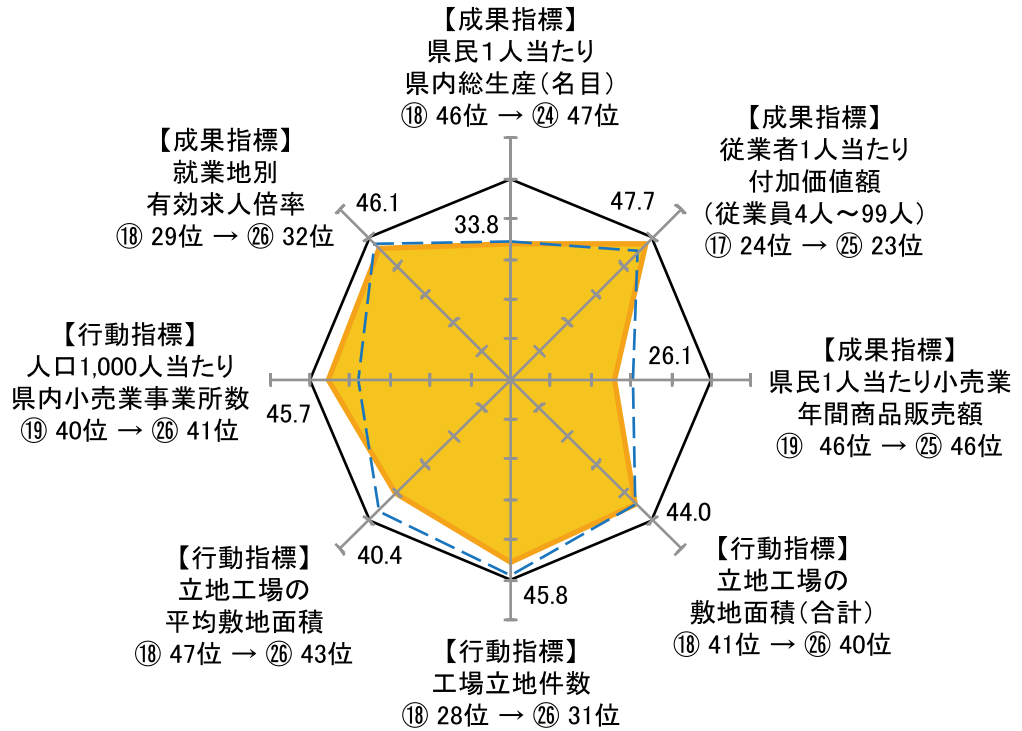
37千円

アップします。

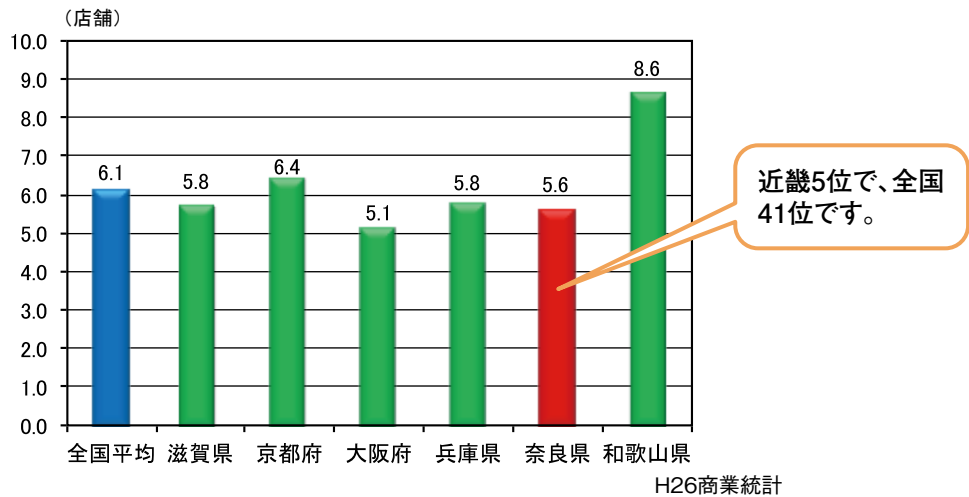
(平成29年度目標額：776千円)
(平成24年経済センサス活動調査 奈良県：739千円)

分 析

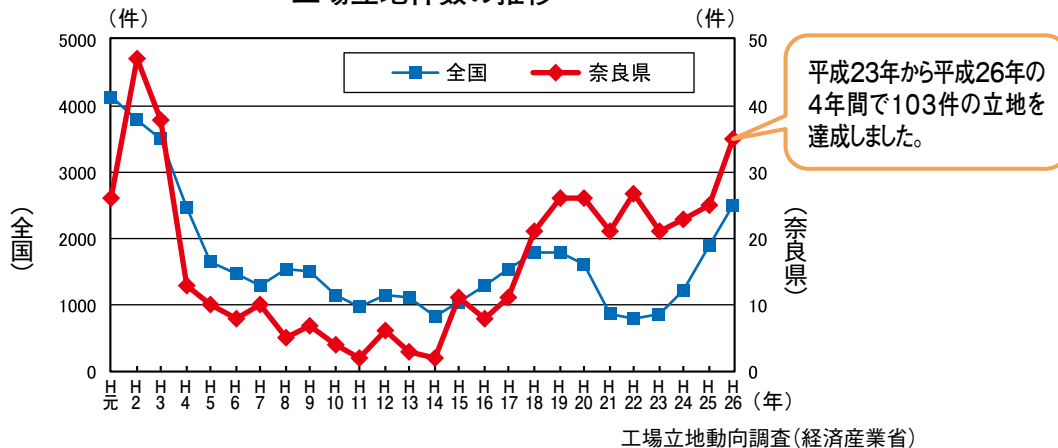
■ 主な指標



人口1,000人当たり小売業事業所数(全国、近畿府県比較)



工場立地件数の推移



主要プロジェクト
1

戦略1

意欲ある企業・起業家への支援とともに、リーディング分野、チャレンジ分野における産業を育成します。

主担当課：産業・雇用振興部 産業政策課

戦略目標

- ▶ 平成27年度から平成29年度までの3年間で、**企業の新商品開発を54件支援**します。
- ▶ 平成27年度から平成29年度までの3年間で、**企業の海外進出を114件支援**します。
- ▶ 平成27年度から平成29年度までの3年間で、**技術研究組合を2組合設置**します。
- ▶ 平成27年度から平成29年度までの3年間で、**ビジネスプランコンテスト入賞者を中心に、20人以上の起業家を輩出**します。

取り組み

「産業興し」各分野の成果目標達成に向けた効果的な施策の実行

クラウドファンディングを活用した新事業展開への支援

高付加価値獲得に向けた取り組みへの支援

生活関連製造業（食料品・繊維）での奈良ブランドの確立

主要プロジェクト
2

漢方のメッカ推進プロジェクト

海外販路開拓に対する支援の拡充

技術研究組合を活用した研究開発の推進

「中期研究開発方針」に基づいた産学官連携体制による研究開発の推進

意欲ある起業家の掘り起こしと創業支援ネットワークを通じた起業支援

制度融資を活用した女性・若者創業者への資金支援

後継候補者を発掘し、円滑な事業承継を支援



ビジネスプランコンテスト

工程表

項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
「産業興し」各分野の成果目標達成に向けた効果的な施策の実行	首都圏への販路拡大、グローバルニッチトップ企業の育成、IoTの活用促進等、「産業興し」各分野に共通する課題への取組を推進			
クラウドファンディングを活用した新事業展開への支援	金融機関等との連携、ファンド事業実施（設立、出資者募集、企業取組）			
高付加価値獲得に向けた取り組みへの支援	自社商品の開発、ご当地食品の開発、自社ブランド構築への支援			
生活関連製造業（食料品・繊維）での奈良ブランドの確立	食料品・繊維製造業のブランド力向上に向けた取り組みへの支援			
漢方のメッカ推進プロジェクト	ステージ1：生薬の供給拡大（薬用作物の優良品種の育成、省力・安定生産技術の開発等）			
	ステージ2：漢方薬等の製造（川上・川下のマッチング推進、漢方関連食品の製品化に向けた研究等）			
	ステージ3：漢方薬等の研究・臨床（大和の生薬の薬効研究、国産生薬の使用促進支援等）			
	ステージ4：漢方の普及（「奈良のくすり」等の販路拡大、森野藤助没後250年記念講演会の開催等）			

項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
海外販路開拓に対する支援の拡充	海外見本市（共同・単独）への出展、外国特許出願への支援			
技術研究組合を活用した研究開発の推進	関係機関との調整		研究共同体の設立支援	
「中期研究開発方針」に基づいた産学官連携体制による研究開発の推進	中期研究開発方針の策定		研究プラットフォームによる重点研究の実施	
意欲ある起業家の掘り起こしと創業支援ネットワークを通じた起業支援	ビジネスプランコンテストの実施、創業サロンの開催、創業支援ネットワークによるワンストップ支援			
制度融資を活用した女性・若者創業者への資金支援	女性創業支援資金による支援		女性・若者創業支援資金による支援	
後継候補者を発掘し、円滑な事業承継を支援	企業実態調査と後継候補者の発掘		企業と後継候補者のマッチングによる円滑な事業承継の推進	

戦略2

企業誘致の推進を図ります。

主担当課：産業・雇用振興部 企業立地推進課

戦略目標

- ▶平成27年から平成30年までの4年間で、**100件の企業立地**と、それに伴う**1,000人の雇用の場**を創り出します。

取り組み

新たな産業用地の確保に向けたプロジェクトの推進

本社機能移転をはじめ、研究拠点、商業・宿泊施設など総合的な誘致を推進

企業立地促進補助金など優遇制度の拡充

成長分野に重点を置いた戦略的企業誘致活動の展開

県内教育機関と連携した立地企業の人材確保支援

情報通信業を対象にした誘致戦略を推進

南部地域・東部地域への企業立地を促進



企業立地セミナー



南大和テクノタウン（北宇智工業団地）

工程表

項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
新たな産業用地の確保に向けたプロジェクトの推進				
◎中中和振興のための産業集積地形成		測量、設計、用地買収、造成等		
◎産業用地の確保へ向けた取り組み（工業ゾーン）	県・市町による協議会設置、企業ニーズに応じた立地条件分析、課題抽出、社会インフラ整備検討			
本社機能移転をはじめ、研究拠点、商業・宿泊施設等総合的な誘致の推進	地方拠点強化税制にかかる地域再生計画の策定	地域再生計画に即した誘致活動の促進		
企業立地促進補助金等優遇制度の拡充	優遇制度の活用（補助金、優遇税制、低利融資）、拡充			
成長分野に重点を置いた戦略的企業誘致活動の展開	トップセミナー、首都圏・関西圏へのPR、的確な情報収集等効果的な誘致活動の実施			
県内教育機関と連携した立地企業の人材確保支援	立地企業の求人支援、人材育成支援			
情報通信業を対象にした誘致戦略の推進	誘致活動の実施			
南部地域・東部地域への企業立地の促進	南部地域・東部地域への企業誘致強化			

戦略3

魅力ある店舗や商品を増やし、消費地としての奈良の魅力向上を図ります。

主担当課：産業・雇用振興部 産業振興総合センター

戦略目標

- ▶ 平成27年度から平成29年度までの3年間で、県から「魅力あるお店」の認定を受けた飲食店の数を12店舗増やします。
- ▶ 平成27年度から平成29年度までの3年間で、小売業の新規事業所（新規雇用保険適用事業所）を320事業所増やします。
- ▶ 平成27年度から平成29年度までの3年間で、まちづくりと連携した商業活性化に、3事例取り組みます。

取り組み

店舗のブランド力の向上とプロモーションの強化

県域外からの店舗の誘致や消費の取り込み

空き店舗の利活用の促進

消費につながるイベント等の集客に向けた取り組みの推進



奈良ブランドの発信「TEIBAN展」
(新宿パークタワー)



御所マーケットプレイス

工程表

項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
店舗のブランド力の向上とプロモーションの強化				
◎ブランド化等に向けた個店の強化とプロモーションの強化		奈良ブランドの開発支援(東京での出展)		
		店舗力の向上支援(商人塾の開校)		
◎SPA(製造小売)モデルの構築	制度設計		製造小売モデルの構築	
県域外からの店舗の誘致や消費の取り込み				
◎集客施設誘致・設置・運営の検討	調査実施	事業者及び創業希望者へのアプローチ		
◎域外消費の取り込みを推進	プレミアム商品券の発行	観光客等の消費拡大に向けた取り組みの実施		
		奈良県・市町村商業活性化等連携協議会の開催		
◎奈良のお土産物発掘・プロモーション	奈良のお土産物コンテスト実施(お菓子)	県内、首都圏等でのお土産物のPR		
空き店舗の利活用の促進	チャレンジショップの実施、開業希望者の支援	商人塾と連動した実践店舗の実施等		
消費につながるイベント等の集客に向けた取り組みの推進	プレミアム商品券利用促進イベントへの支援	商店街等の実施する各種イベントの情報発信等支援		
	モデル地域での取り組みの実践			

これまでの成果

★全国から624件のビジネスプランを集めた**ビジネスプランコンテスト**（平成26年度）では、潜在的な起業家の発掘とともに、県内の起業機運の醸成を図り、平成24年度から平成26年度のコンテスト参加者から**17名の起業家を輩出**しました。

平成27年度の展示会への出展等に対して、**20件の海外販路開拓**を支援しました。

薬用作物栽培の研究や支援等により、**大和トウキの栽培面積**が平成24年から平成27年までの3年間で、1.2haから2.2haへと**約2倍に拡大**しました。

平成27年度に**17件の県内企業の新商品・新技術の開発等**を支援しました。

平成24年度から平成26年度までの3年間で、**12軒の魅力ある飲食店のオープン**を支援しました。

プレミアム商品券の発行によって、平成26年度に**46億2千万円の県内消費**を生み出しました。

平成24年度から平成26年度までの3年間で、奈良墨や折敷など**20点の新しい贈り物開発**を支援しました。

★4年で100件の企業立地件数の目標に対して、平成23年から平成26年までの4年間で**103件の立地**があり、目標を達成しました。また、平成27年上半年は、**7件の立地**がありました。

主な指標の動き

■よくなっている指標

従業者1人当たり付加価値額
（従業者4人～99人）

7,637千円  **7,800千円**
（平成17年度 全国24位） （平成25年度 全国23位）

全国順位、付加価値額ともに上昇しており、企業の活動が堅調です。

就業地別有効求人倍率

0.94倍  **1.01倍**
（平成18年度 全国29位） （平成26年度 全国32位）

平成21年度途中から上昇に転じ、平成23年3月の東日本大震災の影響で一時的に落ち込みがあったものの、概ね上昇傾向が継続しています。

■変化が見られない指標、低下している指標

県民1人当たり県内総生産（名目）

2,712千円  **2,518千円**
（平成18年度 全国46位） （平成24年度 全国47位）

平成18年度と比べ、金額、順位がともに低下しており、県内総生産の伸び悩みが表れています。